

知識・理解

造形芸術の基礎及び専門知識について言語化できるとともに、作品制作や企画、設計、教育等に活かすことができる。

思考・判断

広い視野と柔軟な発想、批評的な考え方をもとにして、芸術性と社会性の両面で問題の発見と解決の提案ができる。

関心・意欲

造形芸術の世界的な動向に関心を持つ一方、地域社会における芸術や産業の現実を直視し、文化や産業の発展に関心を持つことができる。

態度

人と芸術の関わりや創造的活動の持つ深い精神性を理解するとともに、多様な人々と協働して他者や社会にそれらの価値を普及、還元するための適切な行動ができる。

技能・表現

造形芸術の専門的な知識・技能を、作品制作や研究、社会実践活動に活用することができる。

新しい思考と表現を提示

地域文化の発展に貢献

新たな価値を創造

教員免許（美術・工芸）
学芸員資格

地域市町村との協働

建築士（2級受験資格）

学外連携創作活動・プロジェクト

卒業研究・制作

教養教育科目

博物館関連科目

教職に関する科目

学部共通科目

領域ゼミナール
II A・B

工芸B
景観論
古美術巡検
近代デザイン史
マーケティング理論

領域ゼミナール
I A・B

西洋美術史
工芸A
フィールドワーク論
造形理論
東洋美術史

人間力セミナー

美術概論
日本美術史
デザイン理論
構成原理
図学 福祉環境論
色彩学 I・II

プレゼンテーション
立体表現B
デジタル表現
空間表現

アート領域科目群

デジタル
コミュニケーション
デザイン領域科目群

環境デザイン領域科目群

平面表現A・B
立体表現A・B
設計製図

デッサン
立体造形表現

コンピュータ表現基礎
テサイン基礎

共通表現科目

造形理論科目

立体造形論
デジタル表現論
現代美術概論
アートマネジメント論
デザインマネジメント論

プロダクト・工芸論
視覚伝達論
美術解剖学
建築デザイン論

学科専攻科目

4

3

2

1